



◎博光社長

山田健二氏

(やまだ・けんじ) 1968年生まれ。高校卒業後、博光電業に入社。その後、電気工事会社での勤務を経て、再び博光電業で勤務。2002年に社長就任。2009年に会社名を「博光」に変更。



素早い判断と実行力で事業転換。道内トップの実績へ

父が創業した電気工事会社「博光電業」を継承したのが33歳。継承までの15年間は現場で技術を磨いた。

「電気工事業は下請け仕事。幾度となく得意先の倒産を目の当たりにし、顧客から直接

受注する体制に切り替えるべきと感じました」

これを即座に実行。受注の8割を失いながらリフォーム、IHクッキングヒーターの取り付けを手がける「博光」として新たなスタートを切った。

その後、マンション用ボイラーの取り扱いは開始。当初は施工を下請け業者に依頼し

ていたが、対応の質や技術レベルの低さを感じ、自社施工への切り替えを決意した。「社員教育を徹底し、施工の

質を磨いてきました。社内で実際にボイラーを解体して勉強会を開催するなど、常に技術の取得に取り組んでいます」

他社との圧倒的な技術差で徐々に受注が増加。マンション管理組合やボイラーメーカーからの信頼も集め、マンション用ボイラーの修理・交換において道内最多の施工件数を誇るまでになった。

「今後は戸建て住宅ボイラーの交換もおこない、道外進出も視野に展開していく」